# 絵画印象の研究における形容詞対尺度構成の検討

長 潔容江<sup>1)</sup> 原 口 雅 浩<sup>2)</sup>

## 要 約

本研究では、絵画印象の研究で使用された SD 法による形容詞対尺度構成を検討し、絵画印象を評定する形容詞対尺度を同定することを目的とした。絵画印象について研究された論文の中から、14 本の論文を採択した。それらの研究で使用された形容詞対を対象に分析した結果、絵画印象は、活動性因子(12 項目)、明るさ因子(8 項目)、評価性因子(4 項目)、やわらかさ因子(3 項目)の合計 4 つの因子(27 項目)で評定されることが分かった。したがって、絵画印象を評定する尺度は、Osgood が主張する活動性因子および評価性因子に加え、明るさ因子およびやわらかさ因子から構成される。

キーワード:絵画印象, SD法, 形容詞対

# 問 題

絵画鑑賞に関する心理学的研究は数多くなされている。この場合の心理学的研究とは、絵画を鑑賞した者が、その絵画をどのように解釈し評定したか、あるいは絵画を鑑賞してどのような感情が生起されたかという、絵画を見るという視覚から絵画の評価までの心的過程を研究したものを意味する。

絵画の心理学的研究のテーマは、絵画の色彩が鑑賞者の感情に及ぼす影響(筒井・近江、2006)、絵画のタイトル(Franklin, Becklen, and Doyle, 1993)や表現技法の教示(石坂・高橋、2006)が絵画印象に与える影響など多様である。

絵画印象の研究領域では、鑑賞者の心理や感情、あるいは絵画の評価を測定する方法として、Semantic Differential Technique (以下、SD 法とする) がよく用いられる。

岩下 (1983) によると, SD 法とは Osgood らが開発 した測定法であり、さまざまな形容詞対によって構成 された尺度を使用し、評定者にコンセプト (概念) に 対して7段階で評定を求めるものである。さらに、得られたデータを因子分析し、抽出された因子を意味空間の座標軸と考えたうえで、この空間への位置づけによってコンセプトに関する意味上の異同関係を把握する。

Osgood 学派は、この SD 法を用いて行った多くの意味研究およびコミュニケーション研究の結果から、意味構造は、評価性 (Evaluation)、力量性 (Potency)、活動性 (Activity) による 3 次元の空間から成り立つと主張した (岩下、1983)。また、荒木(1981)によると、Osgood らは、この 3 次元の意味構造により、多くの概念をおおよそ説明できると考えている。

岡田・井上 (1991) によると、Tucker (1955) が SD 法を用いて絵画鑑賞における鑑賞者の感情を研究し、感情の因子を抽出するまでは、絵画の評価と鑑賞者つまり個人の特性の関係について研究するものがほとんどであった。Tucker (1955) の絵画鑑賞に関する研究においては、Osgood らが主張する、評価性因子、力量性因子、活動性因子の 3 因子が抽出されている。

しかしながら、絵画鑑賞に関する SD 法を用いた心

<sup>1)</sup> 久留米大学大学院心理学研究科

<sup>2)</sup> 久留米大学文学部心理学科

<sup>3)</sup> 本稿で用いた実験番号および Table 番号等は、オリジナル論文に基づいて表現している。

理学的研究をレビューしてみると、尺度の因子分析の 結果はかならずしも一致しておらず、さらに、尺度に 用いられている形容詞対もさまざまである。

植木・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田 (2004) は 評価性因子 活動性因子 情緒性因子の3因子を 抽出しており Osgood らの研究結果と類似した結果 となっている。 荒木 (1981) は、 色彩因子、 美的評価 因子、潜勢力因子、開放感因子の4因子を抽出してお り、市原(1968, 1969, 1970, 1971)は、明るさ因子、 活動性因子、気持ちのよさ因子の3因子を最終的に抽 出している。また、美大生を対象に研究を行った磯 貝・千々岩(1971)は、活動性因子、力量性因子、素 朴さ (評価性の変形) 因子 暖かさ因子の4因子を抽 出しており、岡田・井上(1991)は、活動性因子、評 価性因子、個性とバランス因子、女性的なやわらかさ 因子の4因子を、高木(1979)は、評価性因子、明る さ因子、活動性因子の3因子を抽出している。このよ うに. 一部は Osgood らの研究結果と類似しているも のの、研究ごとにさまざまな因子が抽出されている。

遠近法を歪ませた絵画を刺激として用いて、表現技法の教示という外部情報が絵画印象に与える影響を研究した石坂・高橋(2006)の結果からは、新奇性因子、感情的印象因子、絵画空間の密集因子、絵画に対する好み因子、規則性因子の5因子が抽出されており、Osgoodらの研究結果と異なっている。

絵画の色彩に関する研究である板倉・深野・板毛・ 辻田 (2005) および植木・深野・西河・細見・水内・ 辻田 (2003) は、評価性因子、活動性因子、情緒性因 子の3因子を抽出しており、Osgood らの研究結果と 類似した結果となっている。

絵画の理解度と評価に関する研究を行った筒井・近江 (2006) は、理解因子、面白さ因子、快さ因子の3因子を含む尺度を、筒井・近江 (2010) は、ヘドニックトーン因子、理解度因子、色彩感情因子の3因子を含む尺度を使用している。

したがって、絵画鑑賞に関する研究で、どの形容詞を用いて、どの因子から構成される尺度を用いるべきかを判断するのは難しい。

そこで、本研究では、これまでなされてきた絵画印象に関する研究で使用された尺度を収集し、尺度で用いられている形容詞対および属している因子名をまとめ、絵画印象を測定する際に適した尺度を作成することを目的とした。

# 方 法

### 絵画研究で用いられる形容詞対の収集

まず、絵画の研究で用いられる形容詞対を集めるために、絵画に関して研究された論文を収集した。論文は、CiNii Articlesの論文検索サイトを利用して収集した。検索の際には、「絵画」、「心理学」、「評価」、「美的評価」、「印象」、「SD」、「感性」のキーワードを用いて行った。

絵画に関する論文を収集し、採択する基準として、研究者が作成したオリジナルの線画や配色のパターンなどではなく、日本国内あるいは世界的に名画として認知されているであろう、日本画および西洋画の有名絵画を評価対象として用いて研究された論文に限定した。なお、絵画の遠近法を歪めるなど、既存の絵画を操作し評価対象として用いた研究の論文に関しては採用した。また、先行研究の尺度をそのまま、あるいはその一部を用いた論文は除外した。

以上の点をふまえて論文をしぼった結果, 1968年  $\sim$ 2010年の間に発表された 14本の論文を採択した (表 1 参照)。

### 尺度作成の手続き

## 1. 入力項目

まず、Excel に、研究者名、論文の発表年、論文のタイトル、因子分析の手法、因子名、形容詞対を入力した。

### 2. 複数の尺度がある論文の尺度選択の基準

同じ論文の中で、数種類の尺度を使用している場合は、研究内容と尺度の内容を考慮した上で、全ての尺度、あるいは使用した複数の尺度を最終的にまとめた尺度、または使用した全ての尺度を代表していると考えられる尺度を1つ選択し、形容詞対を入力した。

市原 (1968) の論文は、実験  $I^{3}$ 、実験 I で用いられた全ての尺度を選択し、形容詞対を入力した。

市原(1969)の論文は、Table 1 の実験 I の 30 項目による直接バリマックス因子構造に記された尺度、Table 2 の実験 I の 26 項目による直接バリマックス因子構造に記された尺度、Table 3 の実験 II の 26 項目による直接バリマックス因子構造に記された尺度、以上の 3 つの全ての尺度を選択し、形容詞対を入力した。

市原(1970)の論文は、Table 1の男子の因子構造に記された尺度、Table 2の女子の因子構造に記された尺度、Table 3の絵画に対して積極的な者の因子構造に記された尺度、Table 4の絵画に対して消極的な者の因子構造に記された尺度、以上の4つの全ての尺度

を選択し、形容詞対を入力した。

市原 (1971) の論文は、付表3の全員 (45名) の平 均値による因子構造に記された尺度を選択し、形容詞 対を入力した。

磯貝・千々岩(1971)の論文は、表 10-1 の因子負荷量行列(対象者:美大生)に記された尺度のうち因子負荷量が低く、あまり重要でないと判断された、「豊かなー貧しい」、「明快なーぼんやりした」、「静かなーうるさい」、「装飾的なー非装飾的な」、「鋭いー鈍い」、「ふしぎなーふしぎでない」、以上の6項目の形容詞対を除いた計24項目の形容詞対を入力した。また、表10-2の因子負荷量行列(対象者:ICU生)に記された尺度のうち因子負荷量が低く、あまり重要でないと判断された、「明るいー暗い」、「洗練されたー洗練されない」、「装飾的なー非装飾的な」、「個性的なー非個性的な」、「重い一軽い」、「鋭い一鈍い」、「素朴なーきざな」、「透明なー不透明な」、「ふしぎなーふしぎでない」、以上の9項目の形容詞対を除いた計21項目の形容詞対を入力した。

高木 (1979) の論文は、Table 9 の大学生の感情の因 子構造に記された尺度を選択し、形容詞対を入力した。

#### 3. 形容詞対の整理の手続き

論文ごとに全ての形容詞対を入力し終えた後、同じ 形容詞の組み合わせだが左右が逆に表記されているも の、同じ形容詞だが漢字で表記されていたりひらがな で表記されていたりと異なる表記がされているもの、 ほとんど同じ意味をもつ形容詞であるが、異なる形容 詞が使用されているものに関しては、形容詞ごとに個 数を算出する際に、異なる形容詞としてカウントされ てしまうため、形容詞対の表現を統一し整理した。

表2は、形容詞対の表現の変更前と変更後を、論文 の発表年順にまとめたものである。

形容詞対の表現を統一し整理して入力した後、同じ 形容詞対でも尺度によっては異なる因子に属している ことがあるため、それぞれの形容詞対はどの因子に属 しているかを調べるために、Excel のピボットテーブ ルの機能を用いて表を作成した。

## 結 果

収集した形容詞対がどのような因子に属しているか を調べるために、Excel のピボットテーブルの機能を 用いて表を作成した(表3)。なお、表3では形容詞対

表1 今回の研究で採択した論文の一覧

	研究者名	発表年	論文タイトル
1	市原洋右	1968	絵画鑑賞の心理学的分析(I)
2	市原洋右	1969	絵画鑑賞の心理学的分析(Ⅱ)
3	市原洋右	1970	絵画鑑賞の心理学的分析(皿)
4	市原洋右	1971	絵画鑑賞の心理学的分析(IV)
5	磯貝芳郎・千々岩英彰	1971	絵画の評価と鑑賞に関する心理学的研究
6	高木敬雄	1979	絵画鑑賞に関する心理学的研究
7	荒木紀幸	1981	絵画鑑賞に関する心理学的研究
8	岡田守弘·井上純	1991	絵画鑑賞における芸術性要素に関する心理学的分析
9	植木雅昭·深野淳·西河俊伸 細見心一·水内保宏·辻田忠弘	2003	フェルメール絵画における色の感性的研究
10	植木雅昭·深野淳·吉川太郎·西河俊伸 細見心一·水内保宏·辻田忠弘	2004	フェルメール絵画の透視図法における感性的研究
11	板倉誠也·深野淳 板毛宏彰·辻田忠弘	2005	佐伯祐三についての色彩分析及び感性的評価に関する研究
12	石坂裕子·高橋晋也	2006	表現技法の教示が絵画の印象に与える影響
13	筒井亜湖・近江源太郎	2006	絵画における「面白さ感」と色彩
14	筒井亜湖·近江源太郎	2010	視覚造形における理解度と美的評価

表 2 変更前と変更後の形容詞対

市原(1968)		更前	形容	部		更後
	個性的	平凡な		個	性的な	平凡な
	不安定な	安定した	te		定定した	不安定な
	たのしい	さびしし	`	淳	ELLI	寂しい
	神経質でない		な		経質な	神経質でな
	やわらかい	かたい			らかな	固い
	女性的	男性的			性的	女性的
	つまらない	おもしろ	110		白い	つまらない
	地味な	派手な			€手な - ↓っぽい	地味な
	子供的 静的	大人的 動的			て人っぽい カ的	子供っぽい 静的
	重たい	軽い			直しい	軽い
	冷たい	暖かい			是かい	冷たい
	不健康な	健康な			建康な	不健康な
	するどい	にぶい			έιν	鈍い
市原(1969)	陰気な	陽気な			景気な	陰気な
	静的	動的			加的	静的
	不健康な	健康な			皇康な	不健康な
	つまらない	おもしろ	561		百白い	つまらない
	するどい	にぶい			にい	鈍い
	地味な	派手な			手な	地味な
	やわらかい	かたい			とらかな	固い スサーばい
	子供的	大人的暖かい			大っぽい	子供っぽい
市原(1970)	冷たい				長かい	冷たい
(AMAXIVIO)	静的 陰気な	動的 陽気な			か的 景気な	静的 陰気な
	たのしい	あびしい	\		ましい	展えな
	やわらかい	かたい			そらかな	固い
	つまらない	おもしろ	110		首白い	つまらない
	地味な	派手な			手な	地味な
	不健康な	健康な		倭	建康な	不健康な
	子供的	大人的		ナ	く人っぽい	子供っぽい
	冷たい	暖かい			受かしい	冷たい
	するどい	にぶい			ξι,	鈍い
市原(1971)	たのしい	さびしい			ELL1	寂しい
	女性的	男性的			性的	女性的
機貝·千々岩(1971)	沈静的	興奮的古くさい			奮的	沈静的
成员·十八石(1971)	新鮮な 個性的な	非個性			所しい 国性的な	古い 平凡な
	はい	悪い	11.1.9		手に しょうしゅ	悪い
	暖かい	寒い			是かい	冷たい
	明快な	ぼんや	UL-t-		はっきり	ぼんやり
高木(1979)	おもしろい	つまらた			白い	つまらない
	興奮	沈静			1奮的	沈静的
	平凡	個性的		但	性的な	平凡な
	安定	不安定		芰	定定した	不安定な
# 12 // 22 / S	かたい	やわら	シバノ		らかな	固い
売木(1981)	はでな	地味な			手な	地味な
	あざやかな 規則的	にごった			半やかな	濁った
	美しい	不規則			見則的な €しい	不規則的な 醜い
	きびしい	やさしし			らさしい	
	かたい					
		やわら	かしい		らかな	厳しい
	軽い	やわら;	かしい	柔	きらかな い	固い
引田·井上(1991)	<u>軽い</u> 軽い	重い	かい	3	さらかな い い	
<b>旬田・井上</b> (1991)		重い		乘 重 重	۱۱,	固い 軽い
同田·井上(1991)	軽い	重い		重直面	しい しい	固い 軽い 軽い つまらない
周田·井上(1991)	軽い おもしろい 深みのある 個性的	重い重いのまられる。表面的平凡		柔重:重面表個	い に 百白い 更面的 関性的な	固い 軽い でまらない 深みのある 平凡な
<b>団田・井上</b> (1991)	軽い おもしろい 深みのある 個性的 安定	重いのまたが表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表	il)	柔重 重面表個安	い 回白い 更面的 関性的な R定した	固い 軽い を で まらない 深みのある 平凡な 安 な な な な な な な な な な な な な な な な る な る
用·井上(1991)	軽い おもしろい 深みのある 個性的 安定 むずかしい	重ないまである。東京の表平不わかります。	il)	柔重:重面表個安单	い 回白い 同白的 関性的な R定した 単純な	固 軽 い い を い ま み の な 安 み れ 安 定 な な な な な な な な な な な な な な な な な な
	軽い おもしろい 深み性的 安定 むずかしい やわらかい	重の表平不わかた ないしょう	まい やすい	柔重,重面表個安单柔	い 回白い 同面的的 REC 記述なな と と と と と と と と と と も の の の の の の の の の	固い 軽い を で 来 み れ 安 な な な な な な な な な な な な な な な な な な
	軽い おもしろい 深みのある 個性的 安定 むずかしい やわらかい 美しい	重加の表平不わからない。	ない	柔重 重面表個安单柔身	い 記りい 記を 記を 記を 記を 記された は は な な な な な な た た り た り た り た り た り た り た	固い 軽い をいまみのな ア不複 関い はな のな なな はい はい はい ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない
	軽い おもしろい 深個的 安でかしい をむからい 美しい おもしろい	重重つ表平不わかみつ まの まの まの まの まの まり いしょう	ない	柔重:重面表個安单柔多面	い 可 可 可 可 可 可 の の の の の の に し な な の に に に に に に な な に に に に に に に に に に に に に	国軽いいまかれて、 ないまかれて安雄いいいなかな。 なななななない。 ななななないいいない。 ななないいいない。 ないないないない。 ないないないない。 ないないないない。 ないのではいいるない。 はいいいるない。 はいいいるない。 はいいいるない。 はいいいるない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるないない。 はいいるない。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はいな。 はい
	軽い おもしろい 深個性定 がしい をむや 美しい もししろい あたたかい	重重つ表平不わかみつ冷かにまたい まっぱい まっぱい かんじょう かんじょん	まい やすい 、 、	柔重,重面表個安阜柔,多面暖	い に に に に に に に に に に に に に	野いい 軽いまみ凡安難いいらのな定ない。 いるのなたななかなからなかなからない。 ないからないなからない。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいいらい。 はいい。 はい
	軽い おもしろい 深個的 安でかしい をむからい 美しい おもしろい	重重つ表平不わかみつ まの まの まの まの まの まり いしょう	さい やすい こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	柔重,重面表個安单柔,多面暖表	いい 可 回 面 面 面 の 的 に は の に は の に は の に は の に は の に な の に い い い い い い い い い い い い い	国軽いいいまみ凡安雑いいらのな定ないあるなまない。 いまたみいまたないいまたかいのなか。 なあるなないいまたかいのかのある。
	軽お来の的にいいるのかがある。	重いま面凡安かかにはまたわからの冷うやわれたいくられている。	まい やすい い ない ごけ かい	柔重重面表個安単柔美面暖表柔	に に に に の で の は に い い 的 的 し な か い い い い い い い い い い い い い い い い い い	国軽いいいまみ凡安雑いいらのな定ないあるなまない。 いまたみいまたないいまたかいのなか。 なあるなないいまたかいのかのある。
i木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お来の的にいいるのかがある。	重いま面凡安かかにはまたわからの冷うやわれたいくられている。	まい やすい い ない ごけ かい	柔重重面表個安単柔等面暖表柔う	いい 可 回 面 面 面 の 的 に は の に は の に は の に は の に は の に な の に い い い い い い い い い い い い い	国軽いいまかのでは、 取いいまのなってですがいいませいいいまかりですがいますがいませいいいませいいましたがあったがある。 ないまたがいないないないないないない。 ないまたがいるいませんがいる。
i木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽おみないというだけ、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいいのでは、いいいのでは、いいいのでは、いいいのでは、いいいのでは、いいいのでは、いいいのでは、いいいいいいいいいい	重し、表平不わかみつ冷うのからいいま面凡安かたにまたいがあったがいいいたが	まい やすい い ない ごけ かい	柔重 重面表個安 单柔美面暖表柔う面	い に に 向 面 性 は た は た は た い い い 的 的 し な か い い い い い い い い い い い い い い い い い い	国軽軽の深平不複 園 醜ったない いいちのな 定な いいいちのな なな ない いちいのか なな あいい いっぱい あいい あいのいい
i木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深からおからいるい。るのからいるからいるかからいるかからいるかからいというなからいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うかい。 ら的 定りいくらいべらしらいべ	さい やすい こい ごけい いい ごけ	柔重重面表個安単柔,多面暖表柔,多面暖表	いい で 可 面間性定 に の に の に の に に の に に の に の に に の に に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	固軽軽つ深平不複固酸のつか深のなまない。 いいものな定ないいらいのいらいなったない。 ながあれななない。 いいものななない。 いいもいのいらいのいらいのいらいのかない。 ないあるない。 ないあるない。 はいあるない。 もいのない。 もいのない。 もいのない。 もいのない。 もいのない。 もいのない。 もいのない。 もいのなない。 もいのなない。 もいると、 もいる。 もいると、 もいる。 もいると、 もいると、 もいると、 もいると、 もいると、 もいると、 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もいると。 もい。 もいると。 もい。 もいると。 もいると。 もい。 もいる。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい
i木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深かたい、 る はいい かんしん ある いい からかい からかい かいかい かいかい かいしん かいかい いいるかみのいいしん かんもん たみいい なんしん たみのいいん かんしん たみのいいん かんしん たみのいいん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うやいいま面凡安かたにまたわわなまたわわれまたわわなまたわわれ	さい やすい いない だいい だいい に けいい に けいい に けいい に けいい に けいい に けい に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	柔重重面表個安単柔,多面暖表柔う面暖表柔	いいに自動性にはない。	固軽性つ深平不複固酸つ冷深固悲つ冷深固 いいいなあななない。 いいなあななない。 いいではないいではない。 はいいではない。 ないのではない。 ないのでは、 はいいるいのでは、 はいいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい、 はいいる。 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、
i木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深かられる いるの的 はもみの的 はもいるかあいいる からいいるかあいいいいいかあいかあいかあいいないかあいいないがあいいないかあいかないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかない	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男いいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性 定りいくがいべらしがいがら	さい かい けい だい けいな	柔重 重面表個安単柔,多面暖表柔,多面暖表柔男	いい 「自面性性にないいい的なたないいいのない」 を受けないいいのないいいのないいいのからいいいのかのないない。	固軽軽つ深平不複固臓の冷深固悲の冷深固女いいいまか凡安雑いいまたみいしいらいのなかなななない。あいないあいかいいはいいないあいない。あいない。あいない。あいない。あいいる、からいいる。
i木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深からいいるいか、るいい、これがあり、いいの的はですがらいいるかあるいいいいいるかれたしいいいいいるかられたいいいいいるなかいのいいいいいなりないのいいいいいいいいるいかいないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱いいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱いがらいべらいべらいがらいがらいがらいい	さい やすい だかい だい だいない	柔重 重面表個安単柔,美面暖表柔,多面暖表柔男力	いいいう面性定純らしたのである。	固軽 軽つ深平不複 園醜つ冷深 固悲 つ冷深 国 表 で いいい まかれて まない ない あい いまたれい しまたみい性々し いっぱい あいい るい ない ない もいい るい ない もいい るい ない もいいる
木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)      木・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004)	軽お深個安むや美おあ深かうおあ深か女力うい。 この的 しかい しんかい しんかい しんかい いいんがあいい しんがあいいい いいる いいい いいる いいいい いいる いいいいいいいいいいいいい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かいいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱ないがらいがらいがらいいがらいいがらいいがらいいい	さい やすい こかい こかい こかい こかい こかい こかい こかい こかい こかい こか	柔重重商表個安単柔美面暖表柔う面暖表柔男力う	いいいの間性定純のでは、 の間性定純のいいい的ないいい的なたないいい的なたないいいいのかしいいいのかいいいいのかにいいいのかいいいいのないのでは、 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	固軽軽つ深平不複固酸つ冷深固悲つ冷深固女弱患いいままみ凡安雑いいまたみいしまたみい性々しいるいの あいな あいな あいいる からしい
木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)      木・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004)	軽お深個安むや美おあ深かられるい、るい、るいいの的にかい、これがあいいいのかがあいいいいいかあいかれもたみのいいかがあれないがあれないがあれないがあれないがあれないがあれないがあれないがある。	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうかいいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱なわらいがらいべら的には、	さい やすい こけい こうけいない こうけいない こうけい	柔重重商表個安単柔美面暖表柔う直暖表柔男力う表	いいの面性では、 いいの面的になったいいののない。 に対するないいいののないののないののないののない。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	固軽軽つ深平不複固酸つ冷深固水である。 いいいまみ凡安雑いいまたみいは、 はまみ凡安雑いいまたみいしいものの がなあななないあいないあいらいのの がないあいいる。 いいののかいののかいののかいののかいののである。
ā木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深かれるいいる はいいろいる はいいろい る はいいろい ないかい いいろい かいかい いいる かったい かいかん かいかい かいかん かいかい かいかん かいかい かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かんしん かいる ないがん かんしん かいる ないがん かんしん かいるいん あんいん あんいん あんいん あんいん あんいん あんいん あんいん	重重つ表平不わか。みつ冷うやか、つ冷うや男弱かうもいいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱なわのはない、お的、定りいくないべらいよいがら的にしては	い せいい けいいい けいない けいない けいない けい	柔重面表個安単柔,多面暖表柔う,面暖表柔男力,う表輪	いいい自動性定純を受し自分である。	固軽 いいと ない あいる ない あいない ない あいい おいまみれて ない おいまかれて ない おい おい おい おい おい おい おい おい かい あい かい あい かい
ā木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深からおあ深か女力う深わかい しの的 しいかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱かいいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱なわの弱いいらいがらいいがらいいがらいいがらいいがらいいがらればいい。	やすい いけい けいない とかない とうかない とうかない けいない けいない けいない けいない とうかない とうかない とうかない とうかない とうかない とうかん かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゃくり しゅうしゅう しゅう	柔重重面表個安単柔等面暖表柔う。回暖表柔男力う表育力	いい白面性定純らし白が面られていか的なたないいい的かないいいのかいいいいかないいいいかかいいいいかかいいいかかいいいかないいいかないいいかないいいかないいいかないいいかない	園軽軽つ深平不複画館つ冷深園悪つ冷深園女弱悲深う弱いいいまみ凡安建いいまたみいしまたみい性々しみみさんいあった。 あいい あいい あいい あいい あいい あいい あいい あいい あいい るいいる
ā木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深からおあ深かな力う深深われい、これがあい、これがあいい。これがあいいいのかのはいい、これがあいいいいのかいかいいいいのがいい。これがあればいいのかいかいいいるかがいいるかがいるいかがいるいかがいるいかいいるかがいいるいかがいるいい。	重重つ表平不わか。みつ冷うやか、つ冷うや男弱からも弱ついい。ま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱なわの弱まられり、 おいしょしいべいがいしいべいしい	い や いよい どかいない どかない とばかない けい けい けいない けいない けいない けいない けいない いけがない	柔重重面表個安単柔等面暖表柔う面暖表柔男力う表育力面	いい白面性を純ら美し白が面られてかった。いいの的なたなかいいい的ないいい的ないいい的ないいい的ないいい的ないいい的ないいい的な	固軽軽つ深平不複同酸つ冷深固患の冷深固女弱悲深う弱ついいいまみ凡安難いいまたみいしまたみいしゃんしみる々またないあ、いないあいいないあいいないあいいないあいいないあいいないあいいる。
ā木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003)	軽お深個安むや美おあ深かすからおあ深か女力う深さ力おあい。 しの的 しかい ろいれもたみかにしたのいいいかか からいいろかあいい あしいいんかあない あいいいる ないがいいあんいいんかあないがったがある いいいる はいいいん かんしいんかん しんいいん かんいいん かんいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんがん かんが	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つついま面凡を少いくは、たかわかたにまたわわられている的の、定りいくは、たいからのしいが、対しまかたいののは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	はい や いは どかいない どかない いどがいない けいない けいない けいない けいない けいない けいない いけいない いい	柔重 重	いい白面性定純らに白み面の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の大白の	固軽軽つ深平不複固酸つ冷深固患の冷深固女弱悲深う弱つ冷深しいいまみれ安雄いいまかみいしまたみい性々しみる々またないあいないあいいないのないない。 ない あいいない かいいいいる いいる いいる いいる いいる いいる いいる いいる いいる
意本・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 意本・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 東倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深かすからおあ深か女力う深さ力おあい。 しの的 しかい ろいれもたみかにしたのいいいかか からいいろかあいい あしいいんかあない あいいいる ないがいいあんいいんかあないがったがある いいいる はいいいん かんしいんかん しんいいん かんいいん かんいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんいいいん かんがん かんが	重重つ表平不わかみったうやかっ冷うや男弱かうも弱つつやいま面凡安かたによれかなまたわってまたから関系があって弱まめわった。	ない さい けいい けいない ごがいいいかい	柔重 重商表個安単柔 美面暖表柔う 直暖表柔男力 うま削力 面暖柔	いい白面性定純らし白が面られ面を面ら性強丸面が強白かないいかのなたながいいいかかしいいめないいい的ないいいかないいいかないいいかないいいかないいいかないいいないないがあれば、	園軽軽つ深平不複園館つ冷深園悲でつ冷深園女弱悲深う弱つ冷園いいいまみ凡安雑いいまたみいしいもたみいしはみされたいなあなな。 あいない あいいない あいいない あいいない あいいない あいいない あいいない あいいない かんしゃ かんしゅう かいしん かいんしん かいん かいんしん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かい
意本・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 意本・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 東倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深からおあ深か女力う深さ力おあか楽し、 しんの的 しい いい しんあめり しいかい というしい といい といい しいい いいる いいい いいるいいい いいるいいい しんかい いいる いいい しんかい いいる いいいるいいい しんかい いいんかい いいんかい いいんかい いいんかい いいんかい いいんかい いいんかい しいいいい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つつやさいいま面凡安かいくないからいはまたわわ性なまたわわし弱まめわびいずらいいくないがらのしていからいないがらのした。	ない さい けいい けいない ごがいいいかい	柔重,重 面表個安単素,美面暖表柔う,面暖表柔男ナう,表育力面暖柔,楽	いいの自動性定純ら低いのでは、いいののないでは、いいののないでは、いいのののではなかいいいのかいいいのかでは、いいのないにいいのないには、いいないにないでは、いいないないないがは、いいないは、いいないは、	固軽をつ深平不複固(こう 冷深固まつ冷深固女弱悲深う弱つ冷固 寂いいまかれなまな、 いったいのいまかれいまたれいはないない あいない あいない あいない あいない あいない あいない あいな
意本・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 意本・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 東倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深かうおあ深か女力う深さ力おあい、 しの的 しかい ろかれたれもしたのいい かかけい ろかあいい かい かんしい かんしい いいる いいい いいる いい いいる いい かんしい かんいい しんかい しんかい しんかい しんかい しんかい し	重重つ表平不わかみったうやかっ冷うや男弱かうも弱つつやいま面凡安かたによれかなまたわってまたから関系があって弱まめわった。	ない さい けいい けいない ごがいいいかい	柔重,重面表個安単柔,美面暖表柔う,面暖表柔男力う表育力面暖柔,楽柔	いい白面性定純らし白が面られ面を面ら性強丸面が強白かないいかのなたながいいいかかしいいめないいい的ないいいかないいいかないいいかないいいかないいいかないいいないないがあれば、	園軽軽つ深平不複園館つ冷深園悲でつ冷深園女弱悲深う弱つ冷園いいいまみ凡安雑いいまたみいしいもたみいしはみされたいなあなな。 あいない あいいない あいいない あいいない あいいない あいいない あいいない あいいない かんしゃ かんしゅう かいしん かいんしん かいん かいんしん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かい
意本・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 意本・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 東倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深か方おあ深か女力う深さ力おあか乳いし、この的 しかい ろいったいものいいしたのいいしたのいいしたのいいいあしたのいいしたのいいいあしたのいいしたのいかいいあしたいいいかいる かんしいしん かあいいいあん いいいしん かんしん しんしん いいいいん はんしん いいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つつやさかまいます面凡安かたにまたわわなまたわわり顕まかの弱まかないたいから的、定りいくないべらいまったからいないないのであった。	はい や いない けいない けいない いけかない いけいない けいない いけいない いけいない いけいない いいけいない いいいいい	柔重重菌表個安単柔等面暖表柔う、回暖表柔男ナう表育力面暖柔楽柔暖	いい白面性定純らに白か面られ面も性強れてあり強白からしらいの的のとなかいいい的かしいい的か的いし的ないいいないないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがな	園軽軽つ深平不複園館つ冷深園悲つ冷深園女弱悲深う弱つ冷園寂園いいいまみ凡安健いいまたみいしまたみい性々しみる々またいいないあった。 あいない あいいない あいいない あいいない あいいる いいる いいる いいるいい あいいない
同田・井上(1991) 直木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 直木・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 反倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深かうおあ深か女力う深さ力おあか楽やあ密複いもみ性定からいもたみたれもたみた性強れみが辿したたいたしわた集雑ない。 る いい いいる いいいんがあいない あいいいかかたたいからかしたいいかかたたいからない といいない といいない かいいんかいしたいいかかたたいからかしたいいかいたないというないといいからからないというないというないというないというないといいないというないというないとい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つつやさか冷からないよいのであれたにまたわわな事なわの弱まめわびたたいからいからいからいがありませんだいがいないがありません。	はい や いない けいない けいない いけかない いけいない けいない いけいない いけいない いけいない いいけいない いいいいい	柔重重菌表個安単柔等面暖表柔う直暖表柔男力う表解力面暖柔楽柔暖ま	いい白面性定純ら見白が面られて砂面ら性強丸面が強白からしらかいいの的なたなかいいい的ないいい的ないいい的ないいいかないいいかないかいかいかいかいかいないないないな	固軽軽つ深平不複周體つ冷深固患の冷深固女弱悲深う弱つ冷固寂固冷いいいまみ凡安雑いいまたみいしいからなめ、なめなない。 いんいかい はいめいいかいいいいいいいがなめなな ない あいがい あいいがいがい あいいるいいるいい るいいる いいるいいかいいいいいいいいいいいいいいいいい
直木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 直木・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) な倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深かったおあ深か女力え深さ力おあか楽やあ密いしたから しいい ろいり しいい ろいり しいい ろいり しいい いいる いいいろい いいいるい いいいるい いいいるいい いいいるいいいい かいいいかい かいいかかに しんかい いいかん はいいいかい かいいかい かいいかい かいいかい かいいかい かいいかい かいいかい かいいかい かいいかい かいいかいかい かいいかいかい かいいかい かいいかいかい かいいかいかい かいいかいかい かいいかいかい かいいかいかい かいいいかい かいかい かいいいいかい かいいいいかい はいいいかい はいいいかい かいいいい いいいかい かいかいかい かいかいかい かいいいいかい かいかいかい かいいいかい かいいいかい かいいいかい かいいいかい かいいかい かいいかい かいかいかい かいかいかいかい かいかいかい かいかいかい かいかいかい かいかいかいかい かいかいかい かいいいかい かいいいかい かいいいかい かいいいかい かいかいかい かいかいかい かいかいかい かいかいかい かいかいかい かい	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つつやさか冷ま単親いいま面 凡安かたにまたわわなまたべわわ性弱なわの弱まめわびにたにばなみのいかのであり、からいかいからいかいからないがあった。	はい すい けいい けいない だかいにいい ま ひない	柔重・重面表個安単柔・美面暖表柔う、直暖表柔男力で表辨力直暖柔楽柔暖ま単	いい白面性定純らし白が面られ面が面ら性強丸面が強白かいいかいかいかいかいいいい的なたながいいい的かしいい的か的いし的ないいいかいかいかいまなた。なたたっぱいでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	園軽軽つ深平不複周醜つ冷深固悪つ冷深園女弱悲深う弱つ冷園寂園冷ば複いいいまみ凡安建いいまたみいしまたみい性々しみる々またいしいたら雑ない なめ な ない あいない あいいない かいしいのいしいからばない かいる ない るいいる
直木・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 加木・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 京倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深か方おあ深か女力う深さ力おあか楽やあ密複親面い、しの的 しかい ろんあいい ろかめ しいかい おいいろかめ しいい からいしたのいいしたのいいしたのいかにいるしたいいられた集雑し上いいからかた ませんしん いいかん かんしん かんしん かんかん しんしん いいかん あんしん いいかん あんしん いいかん あんしん いいかん あんしん いいかん あんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かん	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つつやさか冷ま単親面いいま面凡安かたにまたわわなまたわわ性弱なか調まめわびたたば純少ないのののであればないないがあればいないがあればいるないないでは、	はい すい けいい けいない だかいにいい ま ひない	柔重・重面表個安単系・多面暖表柔う。面暖表柔男力う表育力面暖柔・楽柔暖ま単彩面	いい白面性定純らに白か面られ面も性強れてあか強白からにらかと純いいめ的なたなが、いい的かいいいめかいいいめかいいいかかいかいかいかいかいないないないないないないないな	園軽軽つ深平不複園麓つ冷深園悲つ冷深園女弱悲深う弱つ冷園寂園冷ば複親ついいいまみ凡安雄いいもかみいしまたみい性々しみされまたいしいたら雄しまとなった。 なめ なか なめ なか ない あいない あいいいいいばないいいいばないいいいいない あいいる いいる いいる はいいいい はないいいいばないいいいばないいいいばないいかいいいいばないいかいいかいいいいいがないいかいいかいいいいいいいいいい
意本・深野・西河・細見・水内・辻田(2003) 意本・深野・吉川・西河・細見・水内・辻田(2004) 東倉・深野・板毛・辻田(2005)	軽お深個安むや美おあ深かうおあ深か女力う深さ力おあか楽やあ密複親いもみ性定ずからいしたかあいいしたかからいいというでは、これがあいいいない。これがあいいいないからないいいかからないいいかからないいいかからないいいかからないいいかからないいいかからないが、いいないいいかからないいいかからないが、あいいいかからないが、これが、いいからないが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これ	重重つ表平不わかみつ冷うやかつ冷うや男弱かうも弱つつやさか冷ま単親いいま面 凡安かたにまたわわなまたべわわ性弱なわの弱まめわびにたにばなみのいかのであり、からいかいからいかいからないがあった。	はい すい けいい けいない だかいにいい ま ひない	柔重,重面表個安単柔,美面暖表柔う,面暖表柔男力,う表育力面暖柔,楽柔暖ま単彩面単	いい白面性を純らも白か面られて砂面ら性強丸面が強白からしらかまないいい的のなどなかいいい的ないいい的ないいい的ないいいかいがいまないのないにいいないないないないないないないないないないないないないないないない	固軽軽つ深平不複固頗つ冷深固患つ冷深固女弱悲深う弱つ冷固、級固冷ば複親いいいまみれて変ない。ちいあいしまたみい性々しみさ々したいいいはな対なあまない。 いいる いいらいかい いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい

表3 因子ごとに算出した形容詞の個数

				1	T										Г		T													
因子名	活動性	明るさ	評価性	情緒性	やわらかさ	好み	感情を強く動かす	力量性	気持ちのよさ	色彩	新奇性	美的評価	感情的印象	単純で軽やかな楽しさ	ヘドニックトーン	解放感	絵画空間の密集	個性とバランス	潜勢力	絵画に対する好み	女性的なやわらかさ	面白さ	理解	規則性	色彩感情	素朴さ	暖かさ	快さ	理解度	総計
美しい	7		6			1			1			1			1											1				18
明るい	3	9		1		1		1		1			1												1	Ė				18
暖かい	3	6		1						1			1	1							1				1		2			17
柔らかな	1		1	3	5			1	2				1	Ė					1		1						_			16
面白い	1	2	4	1	1	1		1	3						1							2								16
楽しい	3	8				Ė				1			1	1	1							_								15
派手な	12	1					1			1			Ė	Ė	Ė															15
好き	3	3	2			1	<u> </u>		2	_		1			1					1										14
新しい	9	_	1			Ė	1		_	1			1		Ė	1				Ė										14
重い	1	7		2			ļ.	1		Ė				1		1														13
男性的	6	1		2	2									,		Ė			1		1									13
安定した	9	Ė		_	-		1					1						1	_		,									12
表面的	2	6	1	2		-	r'							1				r'												12
単純な	_	6	Ė	-	1									1		1	1	1												11
まとまった	7	-				1								,			1	1											-	10
興奮的	9					i i	1										Ė	Ė												10
大人っぽい	7		2			-	1																							10
動的	8			-		-	_							-	_				4						_				_	_
	8	_				-	1			-									1											10
陽気な		8			-		-		_	1				1					_		_									10
鋭い	_	3			4	1	-								_						1									9
ゆるんだ	3	_			5	-													_			-								8
感情的	7				-	-	1		-			-			_			_				-								8
強い	6	_	-	-	1	-	1		-						_			_							_					8
健康な	5	2	_			1	-		_		_														_					8
神経質な	1	6		_		-								1																8
平凡な	8			-		-	-						_						_			_								8
良い	1		4				-					1																		6
積極的な	3			2		_	_																							5
力強い	2		1	2																										5
やさしい	2			1															1											4
親しみやすい			2	1																1										4
豊かな	2		2																											4
うれしい				2									1																	3
快い															1					1								1		3
個性的な	1					_	1											1												3
重厚な	1							2																						3
しゃれた			3																											3
すばらしい			3																											3
穏やかな	1			2																										3
活発な	3																													3
貴族的な	2		1																											3
好ましい	1		2																											3
自由な	2															1														3
上品な	3																													3
鮮やかな	1									1															1					3
大胆な	1		1															1												3
濃い			1	2																										3
愉快な	2			1																										3
理解できる																							2						1	3
立派な	2		1																											3

因子名					ゃ		感情		気				感	単純でな	ヘド		絵画	個性		絵画	女性的				-					
名形容詞	活動性	明るさ	評価性	情緒性	わらかさ	好み	を強く動かす	力量性	持ちのよさ	色彩	新奇性	美的評価	情的印象	軽やかな楽しさ	ニックトーン	解放感	空間の密集	とバランス	潜勢力	に対する好み	なやわらかさ	面白さ	理解	規則性	色彩感情	素朴さ	暖かさ	快さ	理解度	総計
繊細な			1					1																						2
いきいきとした	2																													2
かしこい			2																											2
かわいらしい				2																										2
はっきり	1																		1											2
規則的な												1												1						2
強烈な	1		1																											2
冴えた	2																													2
作者が好き					1	1																								2
刺激的な																						2								2
若い			2																											2
充実した								1																		1				2
色が好き		1				1																								2
静かな	1		1																											2
線が好き					1	1																								2
題材が好き					1	1																								2
奔放な	2																													2
あっさりした																1														1
意味が分かる																							1							1
受け入れられる																							1							1
きれい			1																											1
すぐ近くの																	1													1
にぎやかな	1																													1
まれな											1																			1
やわらかい		1																												1
よろこばしい				1																										1
安心する													1																	1
異質な											1																			1
華やかな	1																													1
狭い																	1													1
興味をひく																				1										1
驚くべき											1																			1
芸術的			1																											1
込み合っている																	1													1
今までにない											1																			1
色彩豊かな										1																				1
精密な	1																													1
洗練された								1																						1
素朴な																										1				1
対極的な											1																			1
対称的な																								1						1
大規模な											1																			1
調和した												1																		1
透明な								1																						1
非現実的な											1																			1
変化に富んだ											1																			1
優美な												1																		1
連続的な																								1						1
几帳面な												1																		1
総計	163	70	47	28	22	11	9	9	8	8	8	8	7	7	5	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3	3	2	1	1	459

の片方のみを表示している。

表3より、絵画の評価に関する研究において使用された尺度の因子として、29種類の因子があり、形容詞対は99項目があることが分かった。

本研究においては、表3で示した個数において、1 つの因子で算出された合計が4個以上である形容詞対 を選択し、それ以外は削除することとした。

その結果、因子およびそれに属する形容詞対が表 4 のようにまとまった。選択された形容詞対は合計 27 項目である。その 27 項目の形容詞対を対象に、各因子に属している形容詞対の総計が 19 個以上である因子を選択した結果、情緒性因子を除く、活動性因子、明るさ因子、評価性因子、やわらかさ因子、以上の 4 因子が残った。同一の形容詞対で複数の因子に属している場合は、より数が多いほうの因子に分類した。

活動性因子には、「美しい-醜い」、「安定した-不安定な」、「興奮的-沈静的」、「動的-静的」、「個性的な-平凡な」、「まとまった-ばらばらな」、「男性的-女性的」、「感情的-理知的」、「強い-弱い」、「健康な-不健康な」、「古い-新しい」、「大人っぽい-子供っぽい」、「派手な-地味な」、以上の形容詞対13項目が含まれることが分かった。しかしながら、「美しい-醜

表 4 採択した因子およびそれに属する形容詞

	活動性	明るさ	評価性	やわらかさ	総計
美しい	7		6		13
派手な	12	1			13
明るい	3	9			12
楽しい	3	8			11
新しい	9		1		10
暖かい	3	6			9
男性的	6	1		2	9
安定した	9				9
表面的	2	6	1		9
興奮的	9				9
大人っぽい	7		2		9
面白い	1	2	4	1	8
好き	3	3	2		8
重い	1	7			8
動的	8				8
陽気な		8			8
ゆるんだ	3			5	8
平凡な	8				8 7 7 7
柔らかな	1		1	5	7
単純な		6		1	7
まとまった	7				7
鋭い		3		4	7
感情的	7				7
強い	6			1	7
健康な	5	2			7
神経質な	1	6			7
良い	1		4		5
総計	122	68	21	19	

い」の形容詞対を活動性因子としているのは市原 (1969) および市原 (1970) の論文のみであり、磯貝・千々岩 (1971) の ICU 生を調査の対象にして行った研究、板倉他 (2005)、岡田・井上 (1991)、高木 (1979)、植木他 (2003)、植木他 (2004) では、「美しい-醜い」の形容詞対を評価性因子とし、荒木 (1981) は美的評価因子とし、磯貝・千々岩 (1971) の美大生を調査の対象にして行った研究では素朴さ (評価性因子の変形)、筒井・近江 (2010) はヘドニックトーンというように、「美しい-醜い」の形容詞対を評価性因子と関係が深い因子に含めているため、「美しい-醜い」を除いた形容詞対 12 項目を活動性因子とした。

明るさ因子には、「明るい一暗い」、「楽しい一寂しい」、「表面的一深みのある」、「暖かい一冷たい」、「重い一軽い」、「単純な一複雑な」、「神経質な一神経質でない」、「陽気な一陰気な」、以上の形容詞対8項目が含まれることが分かった。

評価性因子には、「美しい-醜い」、「面白い-つまらない」、「良い-悪い」以上の形容詞対3項目が含まれることが分かった。今回の分析結果では、「好き-嫌い」の形容詞対は評価性因子よりも、活動性因子および明るさ因子の個数が多いという結果となったが、「好き-嫌い」の形容詞対を活動性因子および明るさ因子としているのは、市原(1969)および市原(1970)の論文のみであり、岡田・井上(1991)および高木(1979)は「好き-嫌い」の形容詞対を評価性因子、荒木(1981)は美的評価因子、筒井・近江(2010)はヘドニックトーン因子、石坂・高橋(2006)は絵画に対する好み因子というように、「好き-嫌い」の形容詞対は、評価性因子と関係が深い因子に属していると判断し、「好き-嫌い」を含めた形容詞対4項目を評価性因子とした。

やわらかさ因子には、「柔らかなー固い」、「ゆるんだー緊張した」、「鋭いー鈍い」、以上の形容詞対3項目が含まれることが分かった。

以上の結果をふまえ、絵画鑑賞に関する心理学的研究を行う際に使用する尺度を作成した(表5参照)。この尺度は形容詞対が因子ごとに入力されているため、実際に調査で用いる場合には、形容詞対をランダムに並び替え、さらに形容詞対の左右の配置をある程度替える必要がある。

#### まとめ

絵画印象に関する研究で使用されたSD法による尺度で用いられた形容詞対が、どのような因子に属しているかを調べるために、Excelのピボットテーブルの

#### 機能を用いて分析した。

その結果、絵画印象の領域の研究で使用された尺度は、活動性因子、明るさ因子、評価性因子、やわらかさ因子、以上の4因子、形容詞対27項目から構成されているものが多いことが分かった。各因子に属する形容詞対の内訳としては、活動性因子(「安定した-不安定な」、「興奮的-沈静的」、「動的-静的」、「個性的な-平凡な」、「まとまった-ばらばらな」、「男性的-女性的」、「感情的-理知的」、「強い-弱い」、「健康な-

不健康な」、「古いー新しい」、「大人っぽいー子供っぽい」、「派手なー地味な」、以上の形容詞対12項目)、明るさ因子(「明るいー暗い」、「楽しいー寂しい」、「表面的ー深みのある」、「暖かいー冷たい」、「重いー軽い」、「単純なー複雑な」、「神経質なー神経質でない」、「陽気なー陰気な」、以上の形容詞対8項目)、評価性因子(「美しいー醜い」、「面白いーつまらない」、「好きー嫌い」、「良いー悪い」、以上の形容詞対4項目)、やわらかさ因子(「柔らかなー固い」、「ゆるんだー緊張した」、「鋭い

非常に かなり 非常に どちらでも 安定した 不安定な 興奮的 沈静的 3 動的 静的 個性的な 4 平凡な まとまった 5 ばらばらな 6 男性的 女性的 動 性 7 感情的 理知的 8 強い 弱い 健康な 不健康な 10 新しい 古い 11 大人っぽい 子供っぽい 12 派手な 地味な 13 明るい 暗い 楽しい 14 寂しい 15 表面的 深みのある 明 16 暖かい 冷たい 17 軽い 重い 18 単純な 複雑な 19 神経質でない 神経質な 20 陽気な 陰気な 美しい 醜い 21 評 22 面白い つまらない 価 23 好き 嫌い 24 良い 悪い や 25 柔らかな 固い わ 5 26 ゆるんだ 緊張した か さ 27 鈍い 鋭い

表 5 絵画鑑賞に関する研究で用いる SD 法による尺度

- 鈍い」、以上の形容詞対 3 項目)であった。

絵画印象に関する研究で使用される尺度における因子は、SD法による尺度でOsgoodらの主張する3因子のうちの、活動性因子および評価性因子に加え、明るさ因子およびやわらかさ因子から構成されるという結果となった。

今後の研究課題としては、結果より得られた形容詞対 27 項目から構成された尺度で調査協力者に絵画印象を評定してもらい、実際に活動性因子、明るさ因子、評価性因子、やわらかさ因子の4因子に分かれるかを検討することがあげられる。

また、今回の結果では、各因子に含まれる形容詞対の項目数にばらつきがある。そのため、研究で実際に使用する際は、各因子で用いる形容詞対の個数をある程度統一した方が望ましい。

また、やわらかさ因子の形容詞対の項目数は3項目と少ない。そのため、その因子に沿った内容の形容詞対が十分に含まれていると考えにくい。したがって、やわらかさ因子の形容詞対に関しては、さらなる検討が必要である。

# 引用文献

- 荒木紀幸 (1981). 絵画鑑賞に関する心理学的研究 宮崎大学教育学部紀要. 49. 1-29.
- Franklin, M. B., Becklen, R. C., & Doyle, C. L. (1993). The influence of titles on how paintings are seen. LEONARDO, 26, 103–108
- 市原洋右 (1968). 絵画鑑賞の心理学的分析 (I) Semantic Differential 尺度に関する考察 人文学 報, 62, 113-139.
- 市原洋右 (1969). 絵画鑑賞の心理学的分析 (II) Semantic Differential 尺度に関する考察 人文学 報, 67, 79-90.

- 市原洋右 (1970). 絵画鑑賞の心理学的分析 (Ⅲ) 異なる被験者群についての絵画の情意的意味構造 人文学報 77 115-127
- 市原洋右(1971). 絵画鑑賞の心理学的分析(IV) SD 法による絵画の因子構造と絵画の好みについて 人文学報. 83. 53-102.
- 石坂裕子・高橋晋也 (2006). 表現技法の教示が絵画の 印象に与える影響 - 遠近法の歪みに着目して - 心 理学研究. 77. 124-131.
- 磯貝芳郎・千々岩英彰 (1971). 絵画の評価と鑑賞に関する心理学的研究 武蔵野美術大学研究紀要, 7, 34-58.
- 板倉誠也・深野淳・板毛宏彰・辻田忠弘 (2005). 佐伯 祐三絵画についての色彩分析及び感性的評価に関す る研究 情報処理学会研究報告. 51, 61-68.
- 岩下豊彦 (1983). SD 法によるイメージの測定 川島 書店
- 岡田守弘・井上純(1991). 絵画鑑賞における芸術性評価要素に関する心理学的分析 横浜国立大学教育紀要 31 45-66
- 高木敬雄(1979). 絵画鑑賞に関する心理学的研究 広島修大論集 人文編. **20**. 49-80.
- 筒井亜湖・近江源太郎 (2006). 絵画における「面白さ感」と色彩 日本色彩学会誌. **30**. 128-129.
- 筒井亜湖・近江源太郎 (2010). 視覚造形における理解 度と美術評価 デザイン学研究, 57, 11-18.
- 植木雅昭・深野淳・西河俊伸・細見心一・水内保宏・ 辻田忠弘 (2003). フェルメール絵画における色の 感性的研究 情報処理学会研究報告, 107, 49-56.
- 植木雅昭・深野淳・吉川太郎・西河俊伸・細見心一・ 水内保宏・辻田忠弘 (2004). フェルメール絵画の透 視図法における感性的研究 情報処理学会研究報 告, 7, 25-32.

Scale construction of adjective pairs on the research of impression of paintings.

Kiyoe Cho (Graduate School of Psychology, Kurume University)
Masahiro Haraguchi (Department of Psychology, Faculty of Literature, Kurume University)

#### Abstract

Construction of scales of adjective pairs using semantic differential technique for rating impressions about paintings was investigated. We collected 14 papers that have used the semantic differential technique to rate the impression of paintings and analyzed the scales. Results indicated four factors: Activity (12 items), Brightness (8 items), Evaluation (4 items) and Softness (3 items). It is concluded that, the scales used for rating impressions about paintings are constructed of four factors, whereas Osgood proposed Activity and Evaluation factors.

Key words: impression of paintings, semantic differential technique, adjective pair